

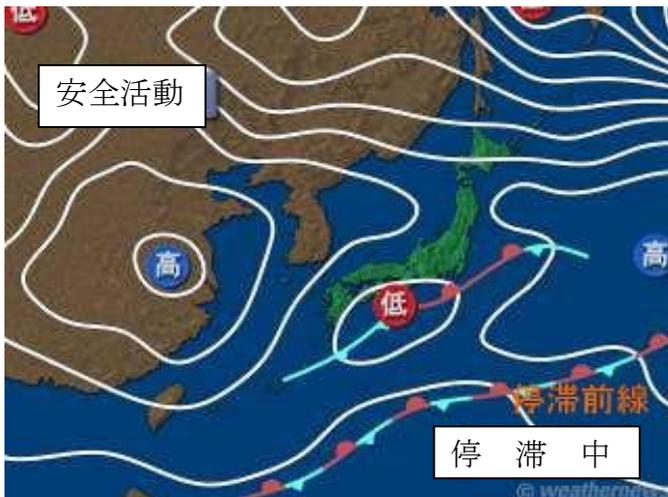
安全衛生活動がマンネリ化している時のアドバイス

活動が中途半端で活性化していない

ある会社から安全管理が活性化していないと相談をいただきました。

ヒヤリハット活動もリスクアセスメントもKYもしているが、どれも低調で活性化していないということでした。

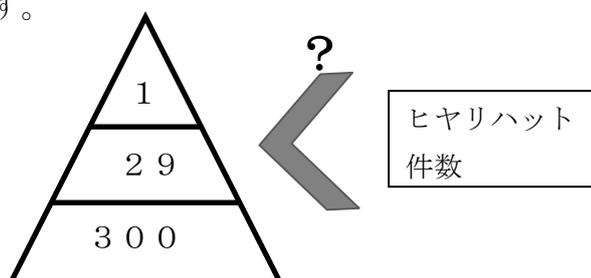
幸い特筆するような災害はないので、安全衛生意識が少ないようで、どの活動も低調で、この先、不安です。安全管理活動に喝を入れながら活性化する方法はないかということです。



ヒヤリハット活動の欠点

ヒヤリハット活動を取り入れている会社は数多くあります。しかし、ヒヤリハット活動は効果がありますか？

ハインリッヒの 1:29:300 の法則から考えると、何件程度のヒヤリハットがあるか考えているでしょうか。労災の件数よりヒヤリハットの件数が少ないということはないでしょうか？これはハインリッヒの法則と全く異なる状況です。



1件の重大な労災がある会社では300件以上のヒヤリハットがあるはずなのです。

考えてみれば、ヒヤリハット活動は作業者の良心と災害防止への意識の強さに依存しています。多くの場合、ヒヤリハットは自分自身の不安全行動・ミスから発生しています。自分の不安全行動やミスを紙に書いて提出し、災害を未然に防ぐのが本来の目的ですが、上司が知らないような自分自身のミスをわざわざ上司に報告し、怒られるというのは、「正直者はバカを見る」と同じで、報告しなければ怒られることもありませんから、ミスを隠すのが当然の行為かもしれません。ヒヤリハット活動は効果的な活動ではありますが、ミスを共有して災害を減らそうという意識が高くなければ効果を得にくいという欠点があるのです。

安全提案制度の欠点



従業員から安全提案・改善提案を求めることは事故防止や快適職場創造に有効です。

しかし、問題を見付けても改善案がなければ提案することができません。

「何かいい方法を考えて欲しい」と意見も当然あるでしょう。

安全提案だけでなく、改善要望も必要なのです。自分たちでは解決できないような課題も従業員から声が上がってくるようにしなければなりません。

リスクアセスメントが定着しない

その会社は、リスクアセスメントの手順・様式を定め、活動を開始しました。しかし、特定された危険源は数える程度です。リスクアセスメントを導入したメリットは期待できません。リスクアセスメントは災害防止にとっても有効

な活動です。しかし、「この作業に最善の方法は無い」と考えたり、「リスクを特定しても意が無い」と考えたりします。「リスクアセスメントは、改善が目的だから、改善できないリスクは特定しても無駄」と考えているのか、リスクアセスメントを良く判っていないのかもしれませんが。

リスクアセスメントは有効な活動ですが、目的や期待できる効果が周知できていなければ、「面倒な活動」と思われているかもしれません。

リスクアセスメントは災害を防ぐ効果があります。しかし、自ら危険を見付けるといった危険感受性を高める効果があります。これは高い安全衛生教育の効果があります。

「リスク低減」という結果は重要ですが、意識向上効果も重要です。

問題の抽出ができていない

今まで、文書として表れにくいような

- 「ちょっと怖い」、
- 「自分は危険性を認識しているから大丈夫」
- 「他の人が同じ作業をすると危険かも？」
- 「作業がやりにくい」
- 「作業が辛い・きつい」
- 「職場環境が悪い（臭い・やかましい）」
- 「保護具無しで仕事したい」
- 「いつも危険を感じながら仕事している」
- 「なんか判らないけど気になる」
- 「何か改善方法はないものか」
- 「この作業は臭いがきついのが当たり前」
- 「この化学物質は人体に影響ないの？」

という、感じているけど言えないような事、今まで事故が無いから放置していることなど、従業員が持っている不安要素を引き出すことが必要です。「当たり前」と思っているけど改善できることがあります。その「当たり前」を抽出し、災害の無い、快適な作業を目指すためには、「こうして欲しい」「ちょっと怖い」「嫌だ」「苦痛」などのつぶやき（ツイッター）的な従業員の声を吸い上げることができる活動が必要だ

と考えています。

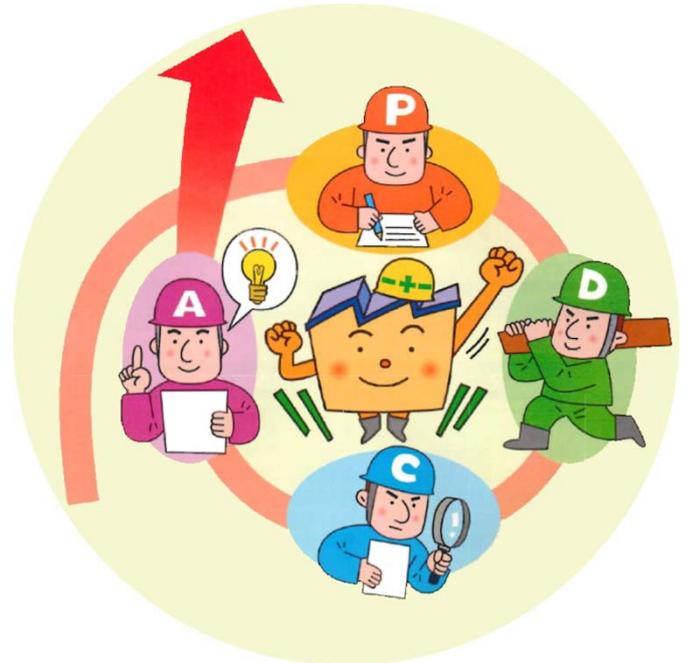
オリジナル安全活動を創ろう

安全衛生活動は、他社の良いところを取り入れる真似から始めていいのですが、同じものをしてしなければならないというものではありません。では、どのような活動がいいかと言うと、リスクアセスメント・ヒヤリハット活動・安全提案などの以前からある活動の長所・短所を勘案した安全衛生活動であり、コミュニケーションツールです。

活動の名前や様式、フローチャートなど事業所の現状に合わせてアレンジします。

一度停滞した活動は、なかなか活性化しません。リニューアルした会社独自の活動をやってみませんか？

多くの企業の安全衛生活動を見てきたコンサルタントにお任せ下さい。



中川 潔

C S P労働安全コンサルタント

C I H労働衛生コンサルタント